

シニア世代の声を集めよう! 60歳以上合唱団員のネットに関するアンケート

【合唱団員(60歳以上)のインターネット環境に関するアンケート】の中間集計が発表されました。このアンケートは、合唱指揮者・佐藤拓さんが5月から始めたもの。『おんがく広場』第50号(5月27日)で「シニア世代合唱団のオンラインへの挑戦」と題するレポートを書いた時点では52名からの回答でしたが、6月9日現在で700名超となりました。当面の目標は1000名です。

見えてきたシニア世代のネット環境

- ・回答者は東京(28%)、東京除く関東(28%)、関西(21%)と大都市圏に集中していました。
- ・年齢は60代(61%)、70代(33%)が中心で高齢者ほどネットに疎くなる傾向が窺えました。
- ・スマホ・タブレットをもっている方は96%、LINE使用率89%、PCがネットに接続しているのは92%、ZOOM使用経験者57%、PCまたはスマホでYouTubeを見られるのは96%となっていました。
- ・所属合唱団の5月時点の活動状況は、何もできていない72%、6月以降再開予定、または既に再開16%、オンラインで練習をしている、または始める予定11%とまだまだ実際の活動は始まっていない状況でした。

ネットをうまく使えないシニアの声をいかに集めるか

今後の課題は、シニア世代のネット環境調査としながらも、ネットを通じてしか問いかけていないため、回答者に偏りが出てきているということです。これまでアンケートに協力してくれた合唱人は、SNS、メール、サイト閲覧などができる方々であり、アンケート実施者(佐藤拓さん)と直接あるいは間接にアンケート情報を受け取ることができた方々です。

ネットを思うように使えず、物言わぬ存在となっている多くの合唱人の声を集め、シニア世代のネットの現状をより正しく把握する必要が生じています。

佐藤拓さんは、現在多くの合唱団が練習できない状態におかれ、一部でオンライン練習も試されてはいるものの、ネットに詳しくない中年～シニアの合唱団はその波に乗れていない可能性があると危惧しており、アンケートにより今後の合唱活動について新たな可能性を開きたいとしています。

とくに北海道、東北、中四国、九州からの声が少なく、地域の偏りをなくすためにもこれらの地域の方のアンケート参加が望まれます。

そこで、この『おんがく広場』をお読みの方々は、ぜひご自分の合唱団や周りでネットに通じていない方々に広げて頂くようご協力をお願いいたします。印刷して配布可能なPDFも用意できますので、ご活用ください。アンケートは匿名です。情報は統計のみに使用し、個人情報は一切公表されません。

◎回答締切りは6月20日を予定しています。

合唱団員(60歳以上)向け
インターネット環境に関するアンケート

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdwS4jTuKXe0aiaim12EOWS9_hFeB7HROwAxivhSDrw6rMLhQ/view/form

佐藤拓【プロフィール】

早稲田大学第一文学部卒業。
在学中はグリーンクラブ学生指揮者を務める。卒業後イタリアに渡り Maria G. Munari 女史のもとで声楽を学ぶ。
World Youth Choir 元日本代表。



アンサンブル歌手、合唱指揮者として活動しながら、日本や世界の民謡・民俗歌唱の実践と研究にも取り組んでいる。

Vocal ensemble 歌譜喜、The Cygnus Vocal Octet、Salicus Kammerchor、Japan Chamber Choir 等のメンバー。東京稲門グリーンクラブ、日本ラトビア音楽協会合唱団「ガイスマ」、合唱団 Baltu、東京ユヴェントス・フィルハーモニー合唱団指揮者。常民一座ビッキンダース座長、特殊発声合唱団コエダイ r、合唱団 (Tenores de Tokyo) トレーナー。

声楽を捻金正雄、大島博、森一夫、古楽を花井哲郎、特殊発声を徳久ウィリアムの各氏に師事。

公式ウェブサイト <https://contakus.com/>

埼玉県合唱連盟 コンクール代替案募集中

埼玉県合唱連盟では、主に中3・高3生向けのコンクールに代わる事業の募集を始めました。3年生が後輩部員とともに歌える事業はないだろうかと模索しています。

授業の始まりが遅れていることから、年内は避けるとし、学校の先生や学生からの意見を募集しています。ただ手をこまねているだけでは前に進めません。みんなで声を合わせ、ハーモニーを楽しめる場をつかめるよう、意力をもって取り組むとしていきます。詳しくはホームページをご覧ください。

埼玉県合唱連盟 <http://saicl.net/>